

## 「胸膜中皮腫包括ABCケア」とは？

- A : アスベスト被害者への
- B : 中皮腫バディナースによる
- C : 認知行動療法を取り入れた心のケアも行う包括的ケア

## 31人の中皮腫バディナース誕生！

秋晴れの10月の良き日に、堺市の研修センターで「看護師向け胸膜中皮腫包括ABCケア教育プログラム」が開催されました。31人の参加者は関西地区を中心とする医療機関から集まった看護師の皆さんです。

今回のプログラムは、**中皮腫患者さんに関わった経験のある看護師さん**を対象に行いました。と言いますのも、中皮腫ケアでもっとも難しい「ケアコーディネーション」をテーマとしたプログラムだからです。参加者には、7本のビデオ視聴とABCケアガイド冊子読破からなる事前学習が課せられました。

午前10時半から午後4時まで、中皮腫の治療を行う病院から、地元の病院へ転院する患者さんにその後起こりうる問題を予測し、予防するためのあらゆる対策を話し合いました。

臨床現場の看護師にとって、自分たちの手を離れた後の患者さんやご家族のを知る機会ほとんどありません。病院の垣根を越えて**他の医療機関の医療従事者と協働**することが難しいことも承知の上でのプログラムでした。参加者の皆さんは、事前学習とプログラムでのご家族の語りから、みごとに地元に戻る患者さんご家族の問題を予測し、素晴らしいケアプランを作り上げました。

**プログラムで習得した知識と人脈を生かして**、中皮腫患者さんご家族のための包括ABCケアが31人のバディナースを中心に展開されることを願っております。



▲ ベルランド総合病院の参加者さん

### 参加者の感想

- ✓今までは、中皮腫と肺がんの違いなど分からずにケアをしていました。
- ✓事前学習のビデオが良かった。
- ✓他の病院や他の部署の看護師と情報交換することができてよかった。

- 上) グループワーク
- 中) 講義
- 下) 修了証とバッジ



# 胸膜中皮腫包括ABCケアプログラムは続きます

## プログラム参加・開催病院募集中！

胸膜中皮腫包括ABCケアプログラムは、中皮腫ケアに従事する看護師を支援することで、**中皮腫患者さんご家族へのより良いケアの実現**を目指して行っています。

日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B)

「石綿で起こり症状緩和が困難な中皮腫に対するパディナースを用いた包括ケアの実装」の助成を受けた研究ですので、**無料で実施**しております。

現在はプログラムの効果を評価中ですので、3回のアンケートにご協力いただける参加者の皆様には謝礼を差し上げています。

**プログラムにご参加いただけるあるいは、プログラムを実施させていただける医療機関**の方ぜひご連絡ください。開催費用は全くかかりません。くわしくは、聖路加国際大学長松康子までお気軽にお問い合わせください。



### 看護師向け胸膜中皮腫包括ABCケア教育プログラム実施病院を募集します

費用

**無料**

・事前学習と対面プログラムの履修、3回のアンケートの全てにご協力いただいた方には規定に従い謝礼を差し上げます。  
・事前学習と対面プログラムを受講した方には修了証を発行し、「中皮腫パディナースバッジ」を贈呈します。「中皮腫パディナース」は、本研究施設独自に行っている教育プログラムを履修した看護師の呼称で、認定看護師制度などは関係ありません。

内容

9:30	胸膜中皮腫包括ABCケアの概要とプログラムの説明・アイスブレイキング
10:00	事例を用いたグループワーク①「中皮腫治療病院滞時のクアコーディネーション」
11:15	発表
11:45	昼食（お食事をご用意します）
12:45	事例を用いたグループワーク②「自宅で急激に増悪した中皮腫患者をどう支えるか」
13:45	発表
14:30	中皮腫ご遺族による語り
14:50	中皮腫患者と家族を支える支援団体の活動
15:10	全体討議
16:00	プログラム修了証とバッジの贈呈、記念撮影
16:30	アンケート記入
17:00	終了

\*事前学習を履修の上でご参加ください。



## ナースのための中皮腫情報サイトのご案内

中皮腫に関する基礎知識、参考文献、有用な情報、イベントなどを公開しています。

看護師のための  
中皮腫情報サイト



ぜひ、  
ご覧ください!!

### 長松康子 プロフィール

聖路加国際大学 国際看護学准教授

大学卒業後、聖路加国際病院で臨床経験を積みました。その後、東京大学大学院国際保健学科で保健学修士号を取得し、順天堂大学医学部公衆衛生学助教、聖路加国際大学講師を経て現職です。普段は国際看護の教員として、世界中を飛び回っています。研究テーマは、中皮腫の看護です。中皮腫患者さんやご家族と密に連携を取りながら、支援、研究、教育活動を行っています。患者さんのケアや転院先などでお困りの際はご連絡ください。アスベストで起こる病気は完治が難しいので予防が何より重要です。そのためアスベストの曝露予防活動も積極的に行っています。中皮腫のケアに携わる看護師の皆様の支援となる活動することに喜びを感じます。実際のケア、学会発表、海外視察、論文作成、修士号取得など、何でもご相談ください。

【問合せ】 聖路加国際大学 長松康子 sarah-nagamatsu@slcn.ac.jp